

電波時計 取扱説明書

(報時計掛時計)

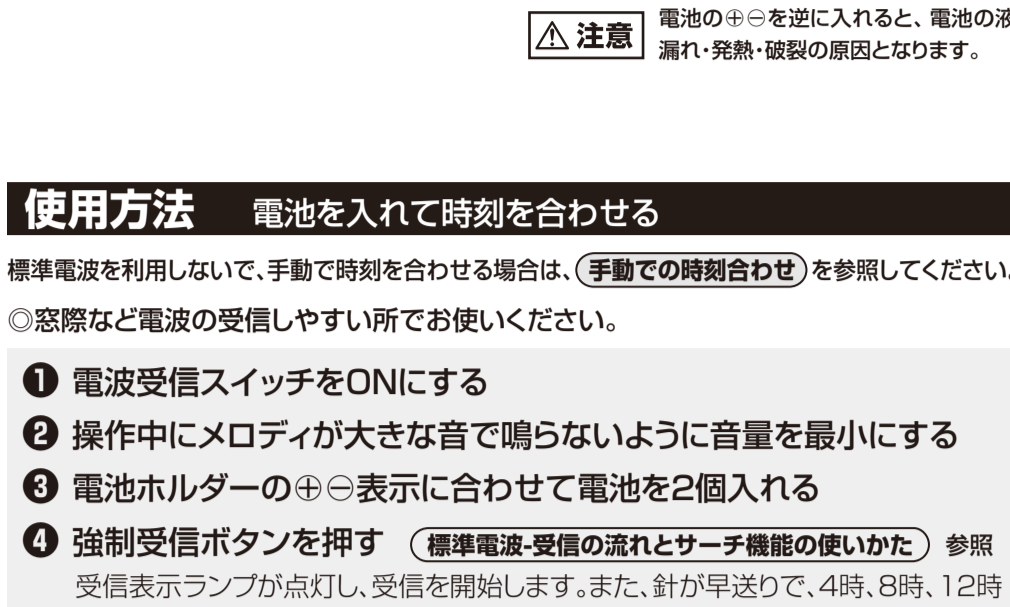
お買い上げいただきありがとうございます。
お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後もお手元に保管して、必要に応じてご覧ください。

株式会社 **リズム株式会社**
〒330-9551 埼玉県さいたま市大宮区北袋町1丁目299番地12
https://www.rhythm.co.jp

電池は付属しておりません。単2形黒マンガン乾電池または単2形アルカリ乾電池を2個ご用意ください。

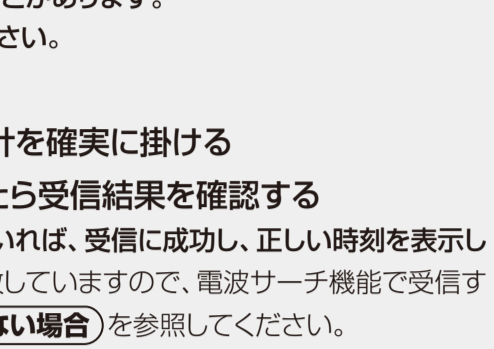
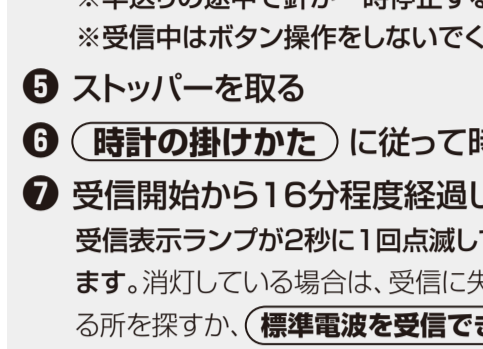
各部の名称と役割

◎図は操作説明用ですので、実際のものとは異なる場合があります。



※受信表示ランプや明暗センサーの位置は商品により異なる場合があります。

ストッパーは、輸送時の振動や衝撃から機構を保護するものです。使用するときは取り外し、輸送する際は取り付けてください。



注意 電池の⊕を逆に入ると、電池の液漏れ・発熱・破裂の原因となります。

使用方法 電池を入れて時刻を合わせる

標準電波を利用しないで、手動で時刻を合わせる場合は、「**手動での時刻合わせ**」を参照してください。

◎窓際など電波の受信しやすい所でお使いください。

- 1 電波受信スイッチをONにする
- 2 操作中にメロディが大きな音で鳴らないように音量を最小にする
- 3 電池ホルダーの⊕⊖表示に合わせて電池を2個入れる
- 4 強制受信ボタンを押す (標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた) 参照

受信表示ランプが点灯し、受信を開始します。また、針が早送りで、4時、8時、12時のいずれかの時刻に移動して、**受信が終わるまで停止**します。
※電池を入れた後は必ず強制受信ボタンを押してください。
※早送りの途中で針が一時停止することがあります。
※受信中はボタン操作をしないでください。

- 5 ストッパーを取る
- 6 時計の掛けかたに従って時計を確実に掛ける
- 7 受信開始から16分程度経過したら受信結果を確認する

受信表示ランプが2秒に1回点滅していれば、**受信に成功し、正しい時刻を表示**します。消灯している場合は、受信に失敗していますので、電波サーチ機能で受信する所を探るか、「**標準電波を受信できない場合**」を参照してください。

※受信に失敗した場合、表示されている時刻は正しくありません。
※受信に成功しても時刻が正しくないときは、ノイズが原因と考えられますので、設置場所を変えて強制受信ボタンを押してください。
※受信表示ランプは、24～25時間以内の受信結果を表示します。

報時の設定をしてからお使いください

側面操作部

- **報時スイッチ**
ON: 毎正時にメロディを1曲奏でます。
OFF: 鳴りません。
○明暗センサーに連動して暗くなる時報時が止まります。
○曲名は本体裏面に表示してきます。
- **ボリューム (音量の調節)**
モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でますので、その間にボリュームを回ってお好みに合わせて調節してください。
- **モニター (メロディの試聴)**
モニターボタンを押すとメロディを1曲奏でます。メロディが鳴っているときにモニターボタンを押すと次のメロディに切り替わります。次に報時するときは、再生の順番が1つ進みます。

- 報時をすると、メロディの再生順番が1つ進みます。
- 時刻ごとにメロディは固定されていません。また順番も変更されません。
- 時刻合わせボタンを操作して、正時たとえば10時ちょうどに合わせても報時をしません。

明暗センサーのはたらき……暗くなると秒針が12時位置に止まる

明暗センサーが暗いと判別した場合
● 受信表示ランプの消灯 ● 秒針が12時位置で停止 ● 報時の停止
昼間や夜間の照明時でも明るさが不足するとセンサーが働きます。

標準電波-受信の流れとサーチ機能の使いかた

- (1) 強制受信ボタンを押す
- (2) 受信表示ランプが点灯
- (3) 針が4時、8時、12時のいずれかの時刻に停止
- (4) 受信局を表示 (40kHz 福島局, 60kHz 九州局, 60kHz 福島局)
- (5) 電波の状態を表示 (●点灯 良好, ○消灯 受信できない, ●点灯/消灯を繰り返す)
- (6) 受信結果の確認 (2秒に1回点滅 受信成功, ○消灯 受信失敗)

受信は最長で約16分間行います

受信終了

電波サーチ機能の使いかた……受信しやすい所を探すには

◎窓際やベランダで(5)まで行い、受信表示ランプが点灯していることを確認します。
受信表示ランプが消灯しているときは電波を受信できませんので、時間帯や日を改めて試してください。

◎時計を設置したい所に移動して、受信状態を受信表示ランプで見ます。
消灯している場合は、同じ部屋の中でも電波の状態が異なる場合がありますので、時計の位置を変えてみてください。

標準電波を受信できない場合

●朝までそのまましておく
一般的に、夜間は電波状態が良くなるので、手動で時刻合わせをして一晩そのままにしておくと受信できる可能性が高くなります。

●場所を変えて、受信をやり直す
電波の受信しやすい窓ぎわで取扱説明書の日本地図を参考に、時計の正面または裏面に電波の送信所に、なるべく向くようにして、強制受信ボタンを押して再度受信を行ってください。

●時刻を合わせて使用する
ベランダなどの屋外で電波の受信に成功させるか、手動で時刻を合わせて使用してください。電波が受信できないときの時間精度は、クォーツ精度になります。

手動での時刻合わせ……受信できないときや任意の時刻に合わせるとき

時刻合わせボタンを操作することにより、手動で時刻を合わせることができます。
※時刻合わせボタンを押していないのに、針が早送りで動いているときは、通常の針の動きになってから操作してください。

※電波受信機能がONのときは、受信に成功すると時刻を自動的に修正します。
※「**電波受信機能のON/OFF切り替え操作**」参照。

時刻合わせボタンを押すと、時針・分針が動き始めます。
○時刻合わせボタンを押してすぐに離すと1分進みます。
○時刻合わせボタンを押し続けると早送りで動きます。このとき秒針は停止します。

秒針の動きについて
時刻合わせボタンを離れたとき秒針に設定されます。秒針が12時位置に停止しているときは、すぐに動き出し、他のところに停止しているときは、秒針が指している時刻になると動き出します。

電波受信機能のON/OFF切り替え操作

誤受信しやすい所を使用する場合や意図的に時間をずらすお使いになるときには、電波受信スイッチをOFFにすると電波を受信しないようにすることができます。この場合、時間精度はクォーツ精度になります。

●電波受信スイッチをOFFにして強制受信ボタンを押すと、ONのときと同様な状態になりますが、受信を行わないで時刻表示になります。必要に応じて、手動で時刻を合わせてください。

●電波受信スイッチをONにしたときは、必ず強制受信ボタンを押してください。

●電波の受信に成功して、受信表示ランプが2秒に1回点滅しているときに、電波受信スイッチをOFFにしても、最長で24～25時間点滅することがあります。

こんなときには

電波受信スイッチをONにして、強制受信ボタンを押しても受信表示ランプが点灯しない。正常に戻すには、次の操作をしてください。

時刻合わせボタンを押したまま、強制受信ボタンを押してすぐ離し、時刻合わせボタンを離します。その後、必ず強制受信ボタンを押してください。



時計の掛けかた

注意 掛けかたが不適切な場合、時計が落下する危険があります。

○掛けたときは、上下、左右に軽く動かして、壁掛け部に掛け具(木ねじ)がしっかりと掛かっていることを確認してください。

○垂直に掛けてください。傾くと掛け具から外れるおそれがあります。

○市販の掛け具を使用するときは、壁掛け部にしっかりと掛かるものを選んでください。

○ドアを開閉するときの振動が伝わらない所に設置してください。

木の柱または木質の厚い壁面の場合

●付属の木ねじが使用できるのは、木の柱または木質の厚い壁面です。

●木ねじは下図のとおり、壁面にしっかりとねじ込んで固定してください。



良い例 引っかかっている

悪い例 引っかかっていない

良い例

悪い例

電池の交換時期お知らせ機能……常時秒針が12時位置に止まる

電池の交換時期になると常時秒針が12時位置に止まり、電波の受信と報時を停止します。時計と分針はこのような状態になってから1ヵ月程度動き続けますが早めに電池を交換してください。

注意 電池の交換 早めに交換して液漏れを防ぎましょう

電池からの液漏れにより、時計の修理や壁面の修繕などに費用が発生することがあります。電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことをお守りください。

- 時計が停止したときは、速やかに新品の電池に交換するか、電池を取り出す。
- 時計が動いているときも1年に1回定期的に指定の電池に交換する。
- 古い電池と新しい電池、種類の異なる電池を混ぜて使わない。
- 電池を交換した後は強制受信ボタンを押す。

液漏れ!

静電気の影響について

静電気の影響により、時計が正常に機能しなくなることがあります。このようなときは、強制受信を押してください。

お手入れについて

●汚れがひどいときは、水ですすめた中性洗剤や石けん水を、やわらかい布に少量つけてふき取り、その後、からぶきしてください。

●ケースなどの汚れ落としに、ベンジン、シンナー、アルコール、スプレー式クリーナー類は、使用しないでください。

●静電気により、時計や掛けた壁面が汚れることがありますので、定期的な汚れを落としてください。

電池・時計の廃棄

●お住まいの自治体の指定に従ってください。

●製品を廃棄するときは、電池と本体を分別して、使用済みの電池はセロテープなどで絶縁してください。

おもな製品仕様

使用温度範囲 -10～50℃ *結露しないこと
時間精度 標準電波受信成功直後の表示精度 秒針 ±1秒 時分針 目盛りに対して±3度
標準電波を受信しない場合 平均月差±20秒(常温中のクォーツ精度)

報時機能 毎正時にメロディを1曲奏でる
報時精度 表示時刻に対して±1秒
報時音 電子音メロディ ※収録曲は裏面シールをご参照ください。
ON/OFF スイッチ切り替え

自動鳴り止め 明暗センサーと連動して随所停止
音量調節 ローター式ボリューム
モニター メロディの試聴可能

推奨電池 単2形黒マンガン乾電池 JIS規格 R14PU 1.5V 2個 または、
単2形アルカリ乾電池 JIS規格 LR14 1.5V 2個

電池寿命 約1年(標準電波の受信に成功して、毎日17回音中位で報時したとき)
暗所封印 明暗センサーと連動して12時位置に停止
電池交換時期 秒針が常時12時位置に停止

お知らせ機能
振り子 装飾用
防滴防塵機能 なし

電波時計機能 電波の受信に成功すると時刻を修正
受信局 福島局/九州局 自動選択
サーチ機能 受信局、受信のしやすさを表示
受信回数 最少1回/日、最多6回/日
受信電波 スライスイフ
手動時刻合わせ ボタン操作にて可能

自動受信開始時刻
受信状態により、受信回数は変化します。
2時16分20秒、3時16分20秒、4時16分20秒、
12時16分20秒、13時16分20秒、14時16分20秒
*2時16分20秒は必ず行う。

※表記の電池寿命は、新たに「おもな製品仕様」の推奨電池に交換した場合に適用となります。
※製品仕様は改良のため予告なく変更することがあります。

付属品 木ねじ 1個、保証書 1枚

安全にお使いいただくためにはじめにお読みください

ここに示した注意事項は、あなたや他の人への危害や損害を未然に防ぐためのものです。必ず守ってください。

図記号の説明 ◎は、禁止(してはいけないこと)を示しています。
○は、指示する行為を必ず守ることを示しています。

警告 死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容

誤飲を防止するため、小さな部品や電池は、幼児の手の届く所に置かない
万一、飲み込んだ場合は、すぐに医師の治療を受けてください。

電池からの液漏れや発熱、破裂を防止するために、次のことを守る

- 電池を傷つけない。
- 電池を分解しない。
- 電池をショートさせない。
- 電池を加熱しない。
- 電池を充満しない。
- 電池を火の中に入れない。

目や皮膚についたら、すぐに水道水でよく洗い流して医師の治療を受けてください。衣服に付着した場合は、すぐに水道水で洗い流してください。アルカリ乾電池の場合、失明や炎症などの障害が発生する危険性が高くなります。

●電池を外して漏れた液を布や紙でよくふき取ってください。修理が必要ならば、お買い上げの販売店または当社総合サポートにお問い合わせください。

注意 傷害を負う可能性または物的損害が発生する可能性が想定される内容

電池の⊕を正しく入れる
液漏れや発熱の原因となり、けがや故障の原因になります。

強い振動や衝撃を与えない
故障や破損の原因になります。

浴室やサウナ、温室内、高温・高温になる所では使わない
さびや故障の原因になります。

ぬれた手でさわらない
さびや故障の原因になります。

分解や改造をしない
けがや故障の原因になります。

下記の様な場所では使わない
性能の低下や部材の変形、変色、劣化、故障の原因になります。

- 直射日光が当たる所。
- 暖房機器からの風が当たる所。
- 温度が-10℃以下または+50℃以上の所。
- 火気のそば。
- ほこりが多く発生する所。
- 強い磁気が発生させる機器のそば。
- 車中や船舶、工事現場など、振動の激しい所。
- プール、温泉場などガスの発生する所。
- 調理場、工場などガスを発生する所。
- ゴムや軟質のポリ塩化ビニルに長い間、直接ふれさせておくと、色移りや付着、変質することがあります。

電池のご注意 (電池の正しい使いかた)

電池のご使用上のポイント 正しく使って事故をなくしましょう

- プラス(+)、マイナス(-)を間違えない。
- 長期使用しないときは電池を取り外す。
- 電池に表示されている使用推奨期間内に使う。
- 古い電池と新しい電池を混ぜない。
- 時計が動いているときも定期的な交換をする。
- 時計が止まったらすぐに電池を取り外す。
- 幼児の手の届かない所に置く。
- 種類の異なる電池を混ぜない。

電池の種類について

●アルカリ乾電池とマンガン乾電池は形状的に互換性があり、一般にアルカリ乾電池のほうが長持ちします。

●一般に充電式の電池は電圧が低く、時計には向きですので使用しないでください。

●一部の電池は、形状的に本製品には向きません。ご注意ください。
(例)Panasonic EVOLTA(エボルタ)乾電池 ※[EVOLTA]は、パナソニック株式会社の登録商標です。

電池の寿命について

●温度などの使用条件により、電池寿命が製品仕様より短くなる場合があります。

●買い置きした電池は、保管状態や電池の使用推奨期間により、電池寿命が短くなる場合があります。

電波時計について

電波時計とは

クォーツ時計に標準電波を受信する機能を搭載し、標準電波を受信することにより、自動的に正確な時刻に修正する時計です。

標準電波とは

標準電波(JJY)は、日本標準時(JST)をお知らせするために、情報通信研究機構が運用している電波です。

※標準電波の時刻情報は、およそ10年間に1秒の誤差という「セシウム原子時計」によるものです。

標準電波送信所は、福島県の「福島局」;おたかどや山標準電波送信所」と佐賀県と福岡県の県境にある「九州局」;はかね山標準電波送信所」の2か所にあります。

標準電波の詳細については、情報通信研究機構のホームページをご覧ください。
(http://jiy.nict.go.jp)

※アドレスは変更になる場合があります。

標準電波の送信停止について

送信所の定期点検や落雷などの影響により、標準電波の送信が停止することがあります。標準電波の送信状態については「情報通信研究機構」のホームページをご覧ください。

海外でのご使用について

この時計は、日本以外の標準電波を受信できません。海外でのご使用になるときは、電波受信機能をOFFにして手動で日時を合わせてください。ONのまま使用すると、まれに日本の標準電波を受信し、日本の標準時を表示したり、ノイズにより誤った日時を表示することがあります。

アフターサービスについて

この時計のアフターサービスは、お買い上げ販売店がいたします。次の記載事項と保証書をよくお読みの上、ご利用ください。お買い上げ販売店でのアフターサービスが受けられない場合は、当社総合サポートにお問い合わせください。保証期間中の場合は、販売店の保証書が必要です。

●修理部品の保有について
電子回路や歯車などの修理用性能部品は製造打ち切り後、7年間を基準に保有しています。ただし、ケースなどの外装部品の修理には、類似代替品の使用や現品交換で対応させていただきます。

●修理可能期間について
無料保証期間が過ぎても、この時計の性能部品保有期間中は、原則として有料での修理が可能です。ただし、修理内容や送料などにより修理代金が高額になる場合がありますので、販売店とよくご相談ください。

このサービスのサービスおよび技術サポートは日本国内でのみ利用可能です。
Service and technical support for this product are available only within Japan.

お問い合わせ先 リズム総合サポート
https://rhythm.jp/support/

商品照会の際は、製品裏面または底面に表示してある製品番号(型番)をご確認ください。
例. 4MN○○○、4MNA○○○、8MN○○○、8MNA○○○

お客様相談室:0120-557-005 受付時間:9:00～17:00(土日、祝日および当社休日を除く)

この取扱説明書を許可なく複製、変更することを禁じます。本製品を使用することによって生じたいかなる支出、損益、その他の損失に対しては責任を負いかねますのでご了承ください。